

各自動車整備振興会 教育担当者殿

一級自動車整備士養成課程教科書の第二版発行分（2色刷り）から次回増刷時の訂正連絡

日本自動車整備振興会連合会（教育部）

〔エンジン電子制御装置〕

変更頁	変更行又は図	変更内容（ゴシック体変更部分）
15頁	下から10行目	～がONの条件下では、ヒューズ2の電流容量が充分であれば～
25頁	図1-27	
33頁	上から11行目	CMRR (Common・Mode・Reject・Ratio:～)
34頁	上から13行目	2.800V-0.15V=2.650V, 3.200V+0.15V=3.350Vとなり、2.650V～3.350Vの範囲にある。
45頁	図1-64	図中の計算式：実効値=波高値× $\frac{1}{\sqrt{2}}$
51頁	図1-81	テストの表示部：「AUTO 500」を「500」（AUTOを削除）
	図1-83	テストの表示部：「AUTO PW OFF」を「AUTO OFF」（PWを削除）
58頁	上から9～10行目	～から数えると濃いときで約0.1V（プローブ使用10mV×10=100mV）付近を、薄いときで～
60頁	図1-97	波形 ch2
61頁	図1-98	波形 ch1
	図1-100	波形 ch2
123頁	図2-138	部品名「チェック・バルブ」の指示位置（変更部分を表示）
173頁	図2-275 下から2枚目	CH1の電圧目盛：「DC 200mV/div」
183頁	図2-286 下から1枚目	CH1・2の時間目盛：「1SEC/div」

〔シャシ電子制御装置〕

変更頁	変更行又は図	変更内容（ゴシック体変更部分）
51頁	下から4行目	～V ₆ の端子を外し電圧が発生する場合は、AT・ECUの不良。
66頁	図1-5	図中の部品名称：「センサ」を「駆動回路」
83頁	下から15行目	～に発生する電圧が、図(2)のCW特性に～
94頁	図2-8	図の題名：図2-8 警告灯点灯回路の点検（1）
97頁	図1-2	縦軸の名称：プレーキ摩擦係数（μ）
150頁	上から20～21行目	確認方法は、次のページの④検出情報と信号電圧の確認方法に準じて行う。
161頁	図1-67	内外気切り替えモータ1内の摺動接点の右側に「FRESH」を追加
163頁	図1-73	図中の部品名称：「マイコン」を「駆動部」
	図1-74	縦軸の電圧値：「5/12」を「5（12）」
165頁	図1-77	縦軸の単位：「(A)」を「(V)」, また、横軸の単位：「(A)」を追加
167頁	図1-83	図中の名称：「IG」を「電源」
	図1-84	
169頁	上側の図	図の題名：「図1-88 運転モード切り替えスイッチ」を追加（第二版のみ）
210頁	下から3行目	～のトルク変動振動周波数に、約2～4Hzの差が生じて、ビート音となる。
221頁	図1-116	ボデー用防振マウンティングの下側：「B」を「B'」
231頁	図1-152	図中の部品名称：「アンチ・スクイール」を「アンチ・スクイール・シム」、また、「ゴム・コーティング」を「ゴム・コーティング」